

(財政事情の公表)

平成22年度 予算の概要
平成21年度 下半期財政運営状況

平成22年5月31日

総社市総務部財政課

平成22年度総社市当初予算の概要

(単位：千円、%)

区 分		平成22年度 (a)	平成21年度 (b)	増減 (a)-(b)	伸率 (a)-(b)/(b)
一 般 会 計		23,230,000	23,070,000	160,000	0.7
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	5,800,000	5,768,000	32,000	0.6
	老 人 保 健	3,500	10,000	△ 6,500	△ 65.0
	後 期 高 齢 者 医 療	681,000	615,000	66,000	10.7
	介 護 保 険	4,392,000	4,064,000	328,000	8.1
	農 業 集 落 排 水 事 業 費	293,000	564,000	△ 271,000	△ 48.0
	公 共 下 水 道 事 業 費	2,319,000	2,697,000	△ 378,000	△ 14.0
	国 民 宿 舎 事 業 費	770,000	798,000	△ 28,000	△ 3.5
	総社駅南地区土地区画整理事業費	715,000	496,000	219,000	44.2
	小 計	14,973,500	15,012,000	△ 38,500	△ 0.3
公 営 企 業 会 計	水 道 事 業	2,060,000	1,910,800	149,200	7.8
	工 業 用 水 道 事 業	59,200	66,400	△ 7,200	△ 10.8
	小 計	2,119,200	1,977,200	142,000	7.2
合 計		40,322,700	40,059,200	263,500	0.7

◎平成22年度当初予算の特徴（一般会計）

- 平成22年度当初予算は、未曾有の経済不況の影響により、市税が大幅に減収となるなど、一段と厳しい財政状況のなか、「地域密着」、「子育て」、「社会的弱者」、「人材育成」などに関わる分野について、予算を重点化したところである。
また、総社の魅力の発信や、必要な「社会基盤の整備」などについても、引き続き取り組んでいくこととしたものである。

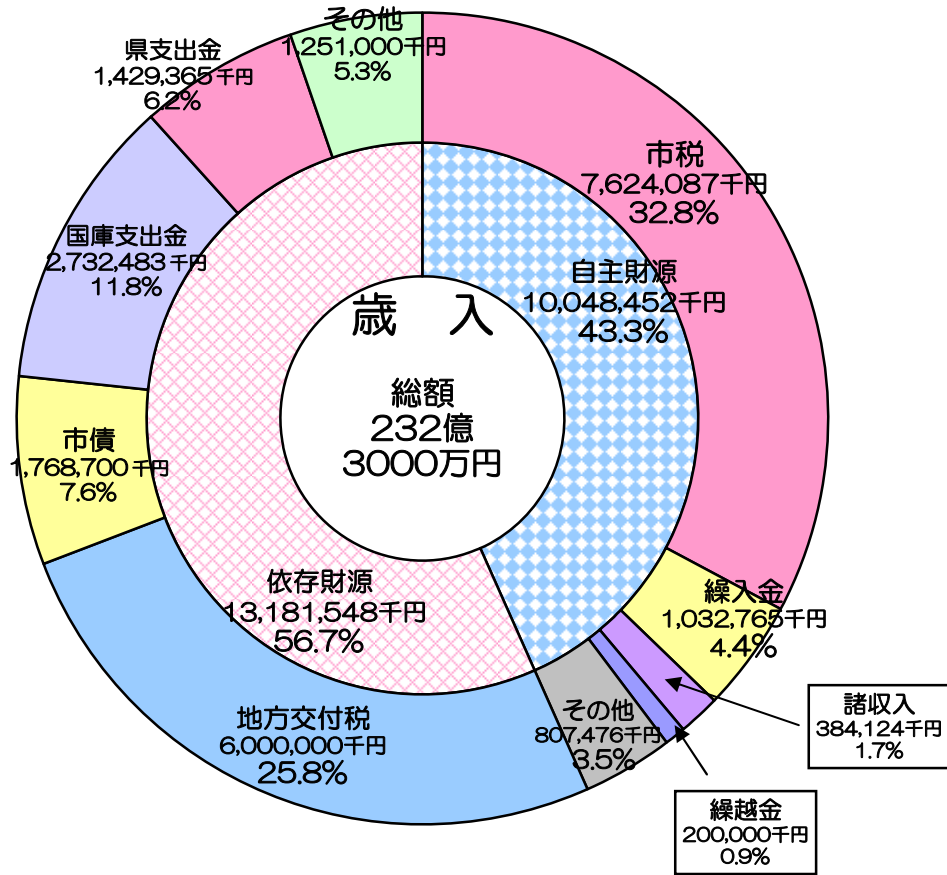
○ 主な事業

(※の事業は新規事業)

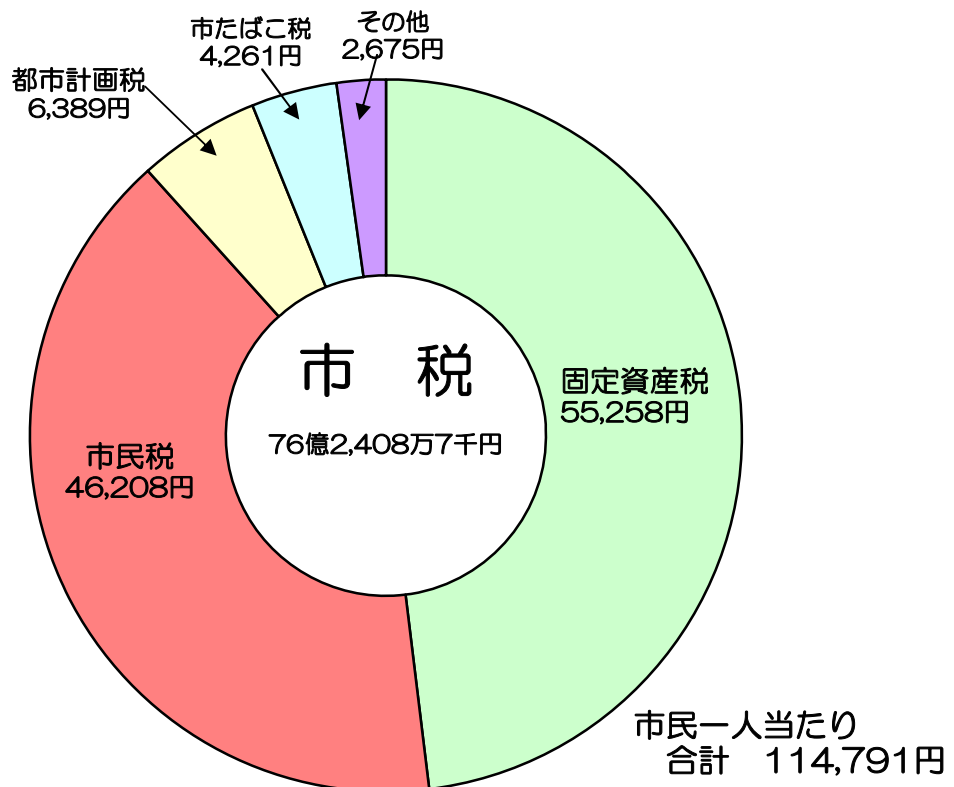
(単位：千円)

	平成22年度	(平成21年度)
1 後期基本計画策定事業	3,661	(2,242)
2 ※電気自動車購入助成事業	1,000	(0)
3 ※在宅当番医制事業運営委託(歯科分)	936	(0)
4 ※肺炎球菌予防接種費用助成事業	780	(0)
5 いきいき福祉基金助成事業	46,730	(37,720)
6 ※私立保育所施設整備事業	126,647	(0)
7 子ども手当支給事業	1,356,260	(0)
8 小児医療費	240,000	(240,000)
9 清音神在本線改良事業	415,285	(285,894)
10 ※定住外国人子ども就学支援事業	17,443	(0)
11 阿曾分館移転新築整備事業	55,300	(39,797)
12 そうじゃ吉備路マラソン大会経費	15,000	(15,000)

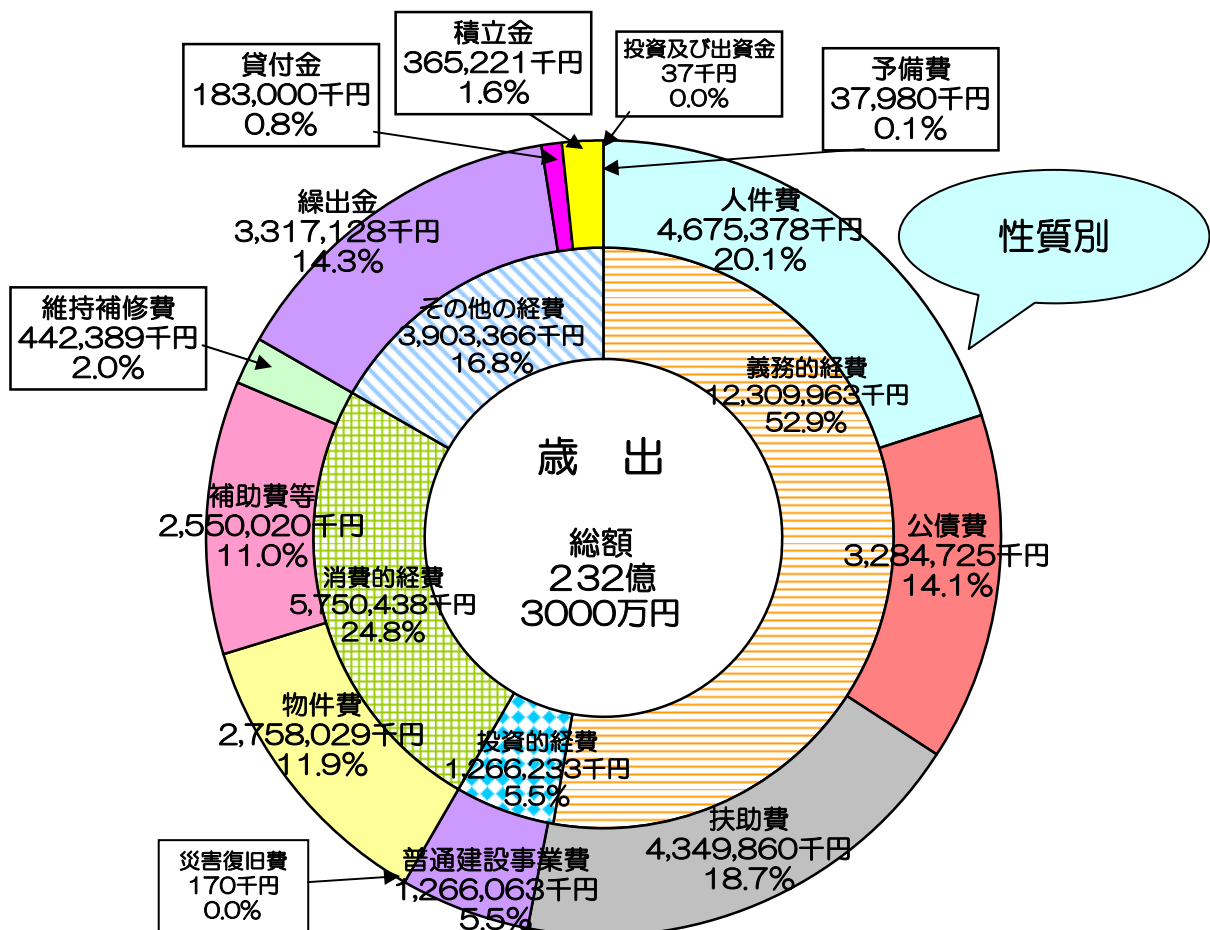
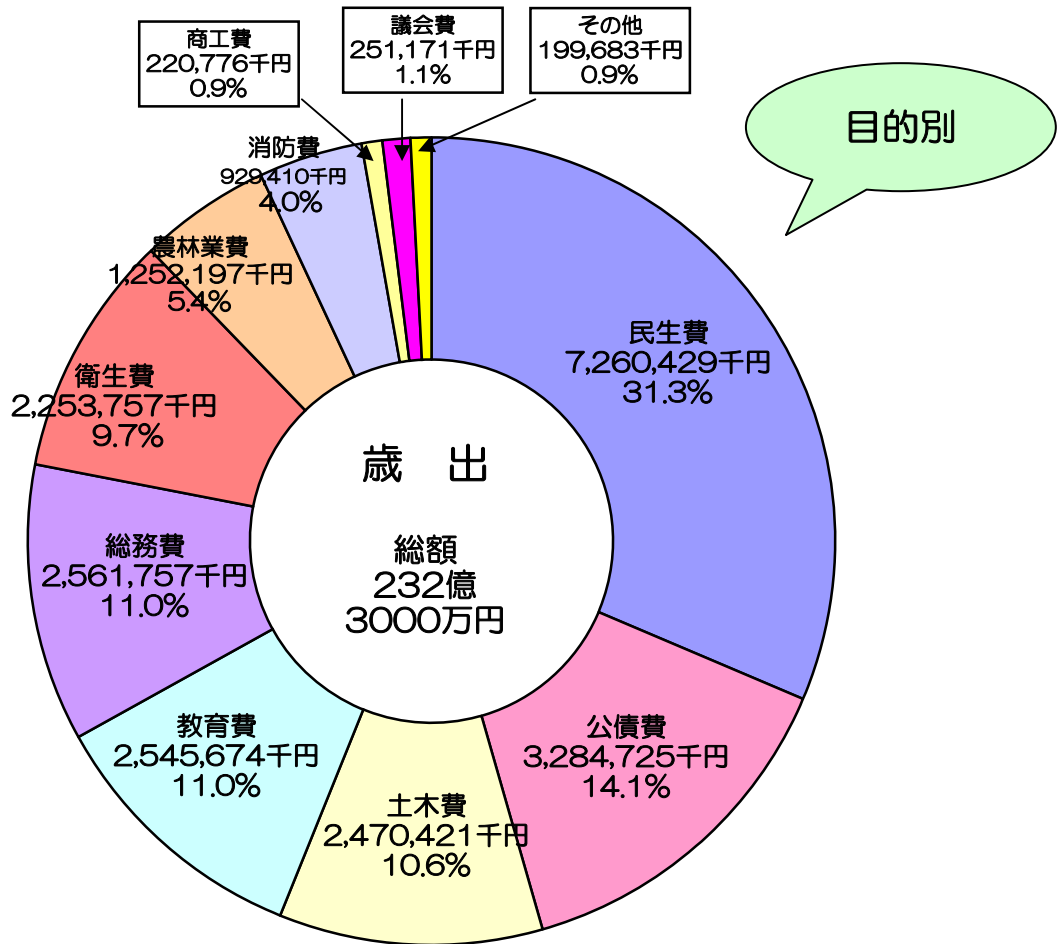
平成22年度 一般会計当初予算の内訳



市民1人当たりの納めている税金はどれくらい?



平成22年度 一般会計当初予算の内訳



平成 21 年度下半期の財政事情

○平成 21 年度下半期の我が国の経済は、「100 年に一度」といわれる世界的な経済不況により、企業の倒産や雇用情勢の悪化が一段と進むなど、かつてない非常に厳しい状況にあります。

地方財政においても例外ではなく、景気悪化に伴う市税の大幅な減収に加え、引き続き地方交付税の抑制や、過去の借入金の償還費の増加、社会保障関係費の増加などが顕著となるなど、**依然として厳しい財政状況**にあります。

○このような状況のなか、本市においては、行政改革大綱に基づき、引き続き行財政改革に取り組むことにより、**歳出の徹底的な見直し**を行ったところでありますが、その一方で、可能な限り、子育てや医療、道路修理などの**市民生活に密着した分野へ予算を重点的に配分**するなど、地域主義の充実を図ったところでもあります。また、歳入面においても、市税等の自主財源の確保に向けて、全庁的に積極的に取り組むなど、**歳入・歳出の両面にわたり、早期の財政健全化**に引き続き努めたところであります。

○依然として、厳しい財政状況は続いておりますが、総社市総合計画に定めました将来都市像【地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市】の実現のため、市民と行政の協働による**わたしたちが考え、わたしたちが実行していくまちづくり**に引き続き取り組んでまいります。

平成21年度下半期財政運営の状況

■各会計予算の執行状況（平成22年3月31日現在）

（単位 千円）

区 分	予算現額	収入		支出		
		収入済額	収納率	支出済額	支出率	
一 般 会 計	24,882,700	21,054,469	84.6%	18,871,470	75.8%	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	5,992,493	5,119,928	85.4%	5,435,397	90.7%
	老 人 保 健	191,470	182,763	95.5%	49,434	25.8%
	後 期 高 齢 者 医 療	588,729	568,373	96.5%	584,330	99.3%
	介 護 保 険	4,256,800	3,433,146	80.7%	3,768,723	88.5%
	農 業 集 落 排 水 事 業 費	507,300	163,443	32.2%	399,678	78.8%
	国 民 宿 舎 事 業 費	761,000	642,502	84.4%	736,530	96.8%
	総社駅南地区土地区画整理事業費	507,100	32,586	6.4%	342,906	67.6%
	公 共 下 水 道 事 業 費	2,656,000	1,269,098	47.8%	2,314,009	87.1%

※ 出納閉鎖(5月31日)までには、収納率は、ほぼ100%に達する見込みです。

■市有財産の状況（平成22年3月31日現在）

区 分		現在高	
公 有 財 産	土 地	4,660,648m ²	
	建 物	251,956m ²	
	山 林	1,600,705m ²	
	有 価 証 券	176,432千円	
	出 資 に よ る 権 利	3,364,268千円	
債 権		302,321千円	
基 金	普 通 会 計	財 政 調 整 基 金	1,041,504千円
		減 債 基 金	995,919千円
		職 員 退 職 手 当 基 金	829,623千円
		ま ち づ く り 基 金	426,695千円
		総社駅南地区土地区画整理事業基金	77,752千円
		小 計（以上5基金）	3,371,493千円
		そ の 他 特 定 目 的 基 金	2,115,053千円
		計	5,486,546千円
	合 計	国 民 健 康 保 険 事 業 基 金	779,525千円
		介 護 給 付 費 準 備 基 金	499,553千円
		国 民 宿 舎 運 営 基 金	160,901千円
公 共 下 水 道 事 業 基 金		389,929千円	
土 地 開 発 基 金		2,319千円	
合 計	7,318,773千円		

■一時借入金の現在高（平成22年3月31日現在）

（単位 千円）

会計区分	予算で定めた限度額	現在高
一般会計	4,000,000	0
国民健康保険特別会計	100,000	0
介護保険特別会計	100,000	0

■基金繰替運用の状況（平成22年3月31日現在）

（単位 千円）

区分	繰替運用金
財政調整基金	0
減債基金	0
職員退職手当基金	0

※基金繰替運用とは、基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用することです。

■債務負担行為の状況（平成22年度当初予算）

（一般会計）

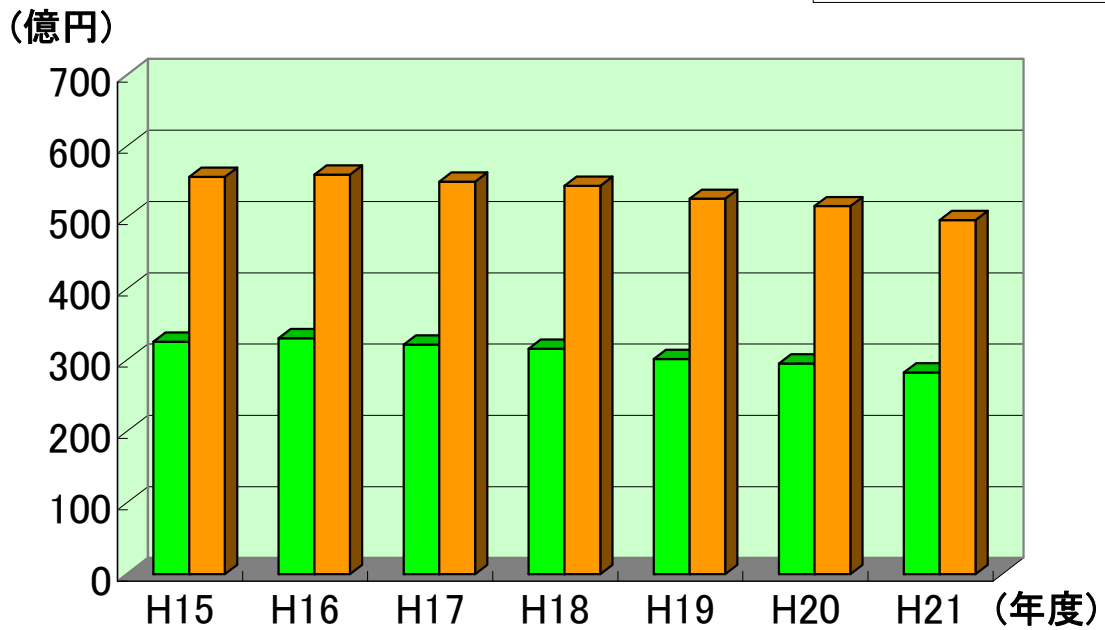
（単位 千円）

科目	件数	限度額	当該年度以降の 支出予定額
総務費	4	29,637	23,317
農林業費	216	3,931,742	1,760,751
合計	220	3,961,379	1,784,068

※限度額が文言等で記載されているもの

- ・農業近代化資金利子補給ほか 4件
- ・損失補償に関するもの 1件

市債残高の推移



※H15~H16は、総社市・清音村・山手村の起債残高を合算した数値

市債の現在高見込額(平成21年度末見込)

(一般会計)

区分	現在高 (千円)
土木債	8,787,343
臨時財政対策債	6,931,343
教育債	2,792,724
水道企業団出資債	2,427,195
減税補てん債	1,298,858
商工債	760,993
民生債	803,307
コミュニティ施設整備事業債	496,421
合併特例債	2,031,120
農林業債	525,969
その他	1,418,248
合計	28,273,521

(特別会計)

区分	現在高 (千円)
公共下水道	14,006,667
駅南地区土地区画整理	3,682,142
農業集落排水	2,149,154
国民宿舎	1,546,428
合計	21,384,391